堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 平成28年度事業報告

資料５

（１）自立訓練事業

① 自立訓練事業利用者の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成２８年度 | 平成２７年度 |
| 　 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 利用契約者数 | 32 | 83 | 115 | 38 | 65 | 103 |
| うち、 | 新規利用（契約） | 15 | 36 | 51 | 13 | 29 | 42 |
| 退所（契約解除） | 17 | 29 | 46 | 22 | 20 | 42 |
| 延利用件数 | 1,396 | 5,122 | 6,518 | 1,885 | 4,461 | 6,346 |

② 新規利用者の契約に至ったきっかけ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成２８年 | 平成２７年 |
| 　 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 医療機関から紹介 | 5 | 24 | 29 | 3 | 21 | 24 |
| 他の事業所から紹介 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 |
| 市・相談機関から紹介 | 1 | 5 | 6 | 3 | 5 | 8 |
| 本人・家族から相談 | 5 | 4 | 9 | 2 | 0 | 2 |
| その他 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 合計 | 15 | 36 | 51 | 13 | 29 | 42 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 　 | 他の事業所を利用 | 就職(復職)/就学 | 入院 | 入所 | 在宅 | その他 | 合計 |
| 平成２８年 | 機能訓練 | 6 | 5 | 0 | 0 | 4 | 2 | 17 |
| 生活訓練 | 11 | 10 | 0 | 0 | 7 | 1 | 29 |
| 合計 | 17 | 15 | 0 | 0 | 11 | 3 | 46 |
| 平成２７年 | 機能訓練 | 8 | 7 | 0 | 0 | 6 | 1 | 22 |
| 生活訓練 | 6 | 10 | 0 | 0 | 3 | 1 | 20 |
| 合計 | 14 | 17 | 0 | 0 | 9 | 2 | 42 |

③ 退所者の動向

H28年度退所者動向（「他の事業所利用」内訳）

機能訓練6（就労継続B型事業所５、生活介護事業所 1）

生活訓練11（就労継続B型事業所10、就労移行事業所 1）

（２）支援普及事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成28年 | 平成27年 |
| 新規実人数 | 159 | 145 |
| 継続実人数 | 410 | 363 |
| 実人数合計 | 569 | 508 |
| 延相談件数 | 2,303 | 1,949 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談者内訳 | 平成28年 | 平成27年 |
| 本人 | 416  | 317  |
| 家族 | 534  | 480  |
| 行政関係 | 338  | 329  |
| 医療関係 | 568  | 448  |
| 福祉関係 | 384  | 322  |
| 教育関係 | 2 | 17  |
| 就労関係 | 5 | 11  |
| その他 | 56  | 25  |
| 合計 | 2,303  | 1,949  |

① 相談支援の状況

② 研修会・勉強会開催の状況

|  |
| --- |
| 支援普及研修会 |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 5月29日 | 第1回　研修会「その人らしい生きがいづくりとは」 | 76 |
| 8月24日 | 　第２回　研修会「社会的行動障害～なぜ怒るの？どう対応するの？～」 | 71 |
| 11月15日 | 第3回　研修会「高次脳機能障害の理解と豊かなコミュニケーションのために」 | 165 |
| ２月１日 | 第4回　研修会「みんな知りたい、明日から使える！高次脳機能障害の症状に対する具体的な対応方法」 | 50 |
| 出張勉強会 |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 6月30日 | 第1回　邦和病院出張勉強会「高次脳機能障害とは？」 | 45 |
| 7月20日 | 第２回　邦和病院出張勉強会「高次脳機能障害に対するリハビリテーションと具体的な対応方法について」 | 35 |
| 9月21日 | 第3回　邦和病院出張勉強会「高次脳機能障害における社会資源について」 | 27 |
| 10月19日 | 第4回　邦和病院出張勉強会「入院中の高次脳機能障害者への対応について ～病棟における観察・対処のポイント～」 | 19 |
| 7月27日 | 第１回　ベルピアノ病院出張勉強会「社会的行動障害への適切な対応と 支援者が知っておきたいこと」 | 31 |
| 9月28日 | 第2回　ベルピアノ病院出張勉強会「高次脳機能障害における 社会資源について」 | 22 |
| 10月5日 | 第3回　ベルピアノ病院出張勉強会「高次脳機能障害とは？」 | 31 |
| 10月19日 | 第4回　ベルピアノ病院出張勉強会「適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について」 | 16 |
| 10月26日 | 第5回　ベルピアノ病院出張勉強会「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加 ～就労について～」 | 22 |
| 11月30日 | 馬場記念病院出張勉強会「生活リハ（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）について」 | 15 |
| 7月20日 | 　こうせん介護サービス出張勉強会「高次脳機能障害とは」 | 20 |
| 7月25日 | 　ヘルパーステーションほくぶ出張勉強会「高次脳機能障害とは」 | 24 |
| 8月18日 | ハーモニーヘルパーステーション出張勉強会「高次脳機能障害とは」 | 28 |
| 10月27日 | コスモスヘルパーステーションせんぼく「高次脳機能障害とは」 | 12 |
| 3月16日 | 第1回　泉北百寿荘出張会　「介助方法：移乗～利用者の健康を守る、介助者の健康を守る～」 | 8 |
| 3月23日 | 第２回　泉北百寿荘出張会　「介助方法：移乗～利用者の健康を守る、介助者の健康を守る～」 | 15 |

研修会・勉強会述べ参加者数　732名

③ 視察研修の受入れ（他機関からの依頼対応）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 5月9日 | 東大阪市社会福祉事業団自立訓練担当予定者（看護師、理学療法士）（実地研修） | 3 |
| 7月19日 | 平成２8年度 大阪府高次脳機能障がい相談支援者養成研修「支援現場フィールドワーク」 | 14 |
| 7月21日 | 関西医療大学保健看護学部（看護学生） | 6 |
| 8月2日 | 平成２8年度 大阪府高次脳機能障がい相談支援者養成研修 「支援現場フィールドワーク」 | 12 |
| 9月9日 | 鹿児島県社会福祉事業団「ゆすの里」（鹿児島県支援拠点機関）（視察） | 1 |
| 10月14日 | 貴志川リハビリテーションセンター「自動車運転技能評価」（視察） | 4 |
| 11月25日 | 大阪河崎リハビリテーション大学 作業療法専攻「地域領域」校外授業 | 5 |
| 11月29日 | 千葉県リハビリテーションセンター（視察） | 2 |
| 12月6日 | 大阪市更生療育センター自立訓練担当者（作業療法士、介護福祉士）（実地研修） | 2 |
| 1月11日 | 宮崎県潤和会記念病院セラピスト室（視察） | 1 |
| ２月１０日 | 京都市地域リハビリテーション推進センター（視察） | 3 |
| 3月3日 | さいたま市障害者更生相談センター（高次脳機能障害者支援センター）（視察） | 4 |
| 3月10日 | ヘッドウェイさかい開設準備者（実地研修） | 3 |
| 3月30日 | 大阪府急性期・総合医療センターリハビリテーションセンター科（実地研修） | 3 |

視察・研修受入れ述べ人数　63名

④ その他

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２月15日 | 堺市教委 教育研究講演会「子どもの高次脳機能障害への取り組みに向けて」 | 約200 |
| ２月20日 | 堺市障害者支援課「居宅介護事業者現任研修」 | 42 |
| ３月15日 | 堺市障害者支援課「居宅介護事業者現任研修」 | 32 |

⑤ 自動車運転技能評価の実施状況

＜堺市＞実施者数　７名　（データについては大阪府事業と統合）

⑥ ネットワーク構築（各区自立支援協議会等への参加状況）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 各区自立支援協議会 | 6 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | ２ | 2 | 25 |
| 府コーディネーター会議 | 2 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 21 |
| 医療機関との会議等 | 1 | 3 | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 4 | 1 | 5 | 1 | 4 | 34 |
| 事業所との会議等 | 1 | 0 | 6 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 3 | 22 |
| その他 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 | 3 | 2 | 24 |
| 合計 | 11 | 9 | 18 | 10 | 11 | 8 | 10 | 10 | 7 | 11 | 9 | 12 | 126 |

（３）目標と実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 目標値 | 実績値 |
| 自立訓練事業新規契約者（利用）数 | 60人 | 51人 |
| 自立訓練事業延べ利用回数(稼働率) | 6,400回（88%） | 6,518回（89.4%） |
| 自立訓練事業退所者数 | 60人 | 46人 |
| 自立訓練事業退所後就労者数 | 40人 | 30人(うち、一般就労15人、就労継続B型事業所15名) |
| 高次脳機能障害者等への相談支援延件数 | 1,500件 | 2,303件 |
| 研修会の参加者数 | 400人 | 732人 |

（３）総括

（１）の自立訓練事業については、利用定員は多機能事業所としての定員３０名に変更はないものの、訓練利用希望者の動向から機能訓練を１５名から１０名へ生活訓練を１５名から２０名とそれぞれ変更を行った。これによって医療でのリハビリテーション終了したものの受傷後６カ月未満の高次脳機能障害診断書で利用可能な自立訓練（生活訓練）の受け入れを円滑にすることが出来た。

機能訓練では、２８年度新規利用者１５名を含む３２名に対して１，３９６回も訓練を提供した。

生活訓練では、２８年度新規利用者３６名を含む８２名に対して５，１２２回の訓練を提供した。人数が増えたために同じ高次脳機能障害を持つ方々の集団訓練を実施することがより可能となり、自己の障害への気づきの機会が増え、自己の症状の説明や適切な援助方法の要請が出来るようになった。

訪問訓練では、単独通所のための訓練を積極的に実施し、利用開始当初は、家族の付き添いで通所していた多くの利用者が単独通所可能となった。

訓練内容としては、機能訓練では理学療法、作業療法、言語療法を個別のリハビリテーション計画を作成し、個別・集団訓練で提供を行った。また中途脳損傷者のうち身体障害だけでなく高次脳機能障害を合併する利用者には認知リハビリテーションプログラムの提供を行った。また、生活訓練では高次脳機能障害のある利用者に就労や余暇活動等それぞれの目的に応じたプログラムを認知機能や目的別にグループ分けを行い適切なプログラム提供を行った。また、身体障害を有する利用者には理学療法や作業療法の機能訓練プログラムの提供を行った。

その他には、退所者と利用者の当事者・家族との交流機会を設けることで、退所者の定着支援と利用者の訓練目標設定や意欲向上を目的とした学習懇談会を６月５日、８月２８日、１月２０日、２月５日の４回実施した。また、毎月１回利用者家族同士の交流会の家族懇談会を１２回開催した。

（２）の高次脳機能障害支援普及事業については、相談支援においては新規相談実人数１５９人で、２７年度の１４５人を上回った。継続実人数は１２カ月の累積では４１０人で新規実人数と合わせて５６９人に対して、延相談件数２，３０３件となった。また、相談方法においては、FAX・電子メールによる相談が２１０件と２７年度の１３６件から大幅に増加した。これは時間や曜日に関係なく相談できる電子メールの活用が増えたためと思われる。

高次脳機能障害に対する啓発活動としては、２６年度に作成したハンドブックを増刷して医療機関に配布するなどより早期からの支援実施に向けた取組みを行った。その他にも生活リハビリテーションセンターの事業紹介用のDVDを作成し、医療機関や相談支援機関に提供を行った。

また、研修会においては、関係団体、支援機関向け研修会を５月２９日、８月２４日、２月１日の計３回、当事者・ご家族・市民向け研修を１１月１３日に開催し、延３６２人の参加を頂いた。

さらに、市内の高次脳機能障害支援体制の強化を目的の一つとした生活リハビリテーションセンター運営委員会を３回開催し、第１期指定管理期間の総括として今後の生活リハビリテーションセンターの目指すべき方向性など提言などをまとめた生活リハビリテーションセンターだよりを発行し、市内の支援機関はもとより、全国都道府県の高次脳機能障害支援拠点機関に送付を行った。

（３）の目標設定と事業結果については、自立訓練事業新規契約者数は、機能訓練１５人、生活訓練３６人の合計５１人で、年度目標６０人を達成できなかった。

自立訓練事業延べ利用回数は、機能訓練１，３９６回、生活訓練５，１２２回の合計６，５１８回で年度目標の６，４００回を達成した。また開所日数２４３日からの稼働率も８９．４％と８８％の目標を達成した。

自立訓練事業退所者数は、機能訓練１７人、生活訓練２９人の合計４６人で、そのうち一般就労が１５人（機能訓練５人、生活訓練１０人）、福祉的就労が１５人（機能訓練５人、生活訓練１０人）でいずれも就労継続B型事業所で一般就労・福祉的就労を合わせると３０人が何らかの生産的活動に従事した。目標の退所者６０人中４０人は達成できなかったが、その比率においてはほぼ達成した。

高次脳機能障害者等への相談支援延べ件数は、２，３０３件で目標の１，５００件を大幅に上回ることが出来た。

研修会・勉強会の参加者数は、支援普及研修会４回延べ参加者数３６２人、出張勉強会１６回延べ参加者数３７０人合わせて７３２人の参加者があり目標の４００人を上回ることが出来た。

第１期指定管理期間の最終年度において、自立訓練実施数や相談支援件数など確実に増加を図ることで外部からの視察や研修希望を頂ける施設となることが出来た。これからも一層の努力を行い市民の社会資源の質の向上に努めていきたい。